

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回 和泉市健康づくり推進市民会議
開催日時	令和5年7月19日(水) 午後2時～3時
開催場所	和泉市立保健センター1階 集団検診室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】 泉谷委員長、上嶋副委員長、北野副委員長、園田委員、松山委員、沖田委員、西川委員、西川委員代理 今川氏、早崎委員、柴田委員、細川委員、石橋委員</p> <p>【事務局】 吉田副市長 子育て健康部 藤原部長 健康づくり推進室 高橋室長 健康増進担当 藤原課長、村上総括主幹、源総括主幹、川上総括主査 葛城主任</p>
会議の議題	第3次健康都市いずみ21計画における達成目標の進捗について 第3次健康都市いずみ21計画の取り組み予定について
会議の要旨	1. 開会 2. 委員及び職員の紹介 3. 案件 (1) 第3次健康都市いずみ21計画における達成目標の進捗について (2) 第3次健康都市いずみ21計画における各機関等の取り組み予定について (3) 健康日本21(第三次)について (4) その他 4. 閉会
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	傍聴人：0人

審 議 内 容

1. 開会

- ・事務局より議事、資料、本日の流れの確認。

2. 委員及び職員の紹介

- ・委員長より開会の挨拶。

第3次計画の推進に関する目標値の進捗や今年度の取り組み予定についての意見交換が案件。皆様には、目標や課題を共有し検討いただきたい。関係する団体が繋がって、健康を守り支えていくための地域づくりの機運をどうつくっていくか、皆様と盛り上げていきたい。

3. 案件

(1) 第3次健康都市いずみ21計画における達成目標の進捗について

- ・健康寿命は計画策定時から上昇も、大阪府自体が低値のため、引き続き取り組みが必要。
- ・むし歯のない子どもの割合は、現状値でみると目標値を達成。その他、数値で出せる指標についても、概ね改善傾向。胃がん検診受診率、ヘルスアップサポーターの活動の場については未達成。コロナ禍での対面健診控え、活動自粛等の影響と推察。

(2) 第3次健康都市いずみ21計画における各機関等の取り組み予定について

- ・事務局より、令和5年度における行政の主な取り組み予定について報告。令和5年6月2日に開催した健康都市いずみ21計画庁内連絡会議にて出された各課の感じる市民の傾向について報告。また、各団体及び市民委員より活動を報告。

〈医師会〉 泉谷委員長

- ・2025年度、団塊の世代が全て後期高齢者の世代になっていくことで心不全が問題になってくる。心不全患者が増えれば、心不全パンデミックが起こる。患者の生活の質の低下、医療費増加、病院の窮迫等の課題も踏まえ、このパンデミックを抑えるために、心機能バイオマーカーを調べることによりマーカーが上がっているようであれば総合医療センターや府中病院の循環器内科で精査して頂き心不全の予防に結び付けたいと考えており現在データを収集中。収集が完了し、心不全の再発予防又は早期発見につながるのということであれば、行政に依頼し心不全の心機能バイオマーカーを特定健診の項目に加えたいと考えている。
- ・独居高齢者が非常に多い中、自治会の参加が少ない。医療者だけでなく参画団体全ての地域社会が孤独・孤立という問題に目を向ける必要がある。医療としても社会的処方という取り組みも行っていきたい。

〈歯科医師会〉 上嶋副委員長

- ・口腔機能管理体制確保事業について、脳卒中患者等の口腔機能向上を通じた入院期間短縮を図ることを目的に現在、岸和田市の葛城病院で脳卒中連携をしている。歯科

医師が毎週出向き入院患者の口腔管理をしっかりと行っている。

- ・在宅歯科口腔ケア地域連携研修会として、摂食嚥下に関する嚥下指導の研修会を開催。チラシが出来上がれば皆様にも配布したい。

- ・学校の歯科健診終了後、専門職の歯科衛生士に依頼し、小学校3年生以上にブラッシング指導を実施。単に歯磨き指導をするのではなく子どもたちに「口腔の管理は全身の管理に繋がっている」という講習を教える。「歯が悪ければ全身が悪くなる」と認識してもらうことで、少し大きくなった時に口腔の管理の大切さを少しでも認識して頂けるブラッシング指導を歯科医師会は目指している。子どもたちが成人になり、子どもができた時に子どもの口腔管理をしっかりとできるようになっていくと考えている。

〈薬剤師会〉 北野副委員長

- ・おくすり教室と薬物乱用防止教室は今年度、小学校10校で実施予定。来年度は今年度実施しなかった11校で開催予定。

- ・薬剤師会で今年度中にホームページの立ち上げ予定。薬剤師会会員間の情報共有を密にすること、市民に対しても健康増進に関する情報提供ができれば良いと考える。

- ・在宅対応薬局一覧の冊子について、市民の目に届く場所に配布したい。内容を更に充実させ、特に医療的ケア児やその家族にも目を向けられるような内容にすることに力を入れていきたい。

〈町会連合会〉 園田委員

- ・たばこの問題については、色々な場所で喫煙ルールが出てきているので確実に推進していきたい。

- ・令和2年度から町会自治会活性化委員会、令和5年度からは町会自治会改革検討委員会を立ち上げ活動予定。色々な問題が抱えられているため、行政とも相談し、長いスパンで5、6年の計画を立て随時、問題解決を行っていかうと考える。

- ・町会連合会の加入率は令和5年時点で46%に低下。校区長も2,3年で変わる人が多い。何もわからずに終わってしまうという状況が和泉市の町会連合会の各町自治会のなかで起きている。何とか解決したいと考えている。改革検討委員会の中で色々なことを前向きに取り組んでいく方針。

〈老人クラブ連合会〉 松山委員

- ・老人クラブの掛け声は「きょうよう」と「きょういく」今日用事がある、今日行くところがある、家に閉じこもらないで健康寿命を延ばすための各種行事を実施予定。

- ・笑いと健康の講演会や健康ウォーキング、すこやか文化祭などを企画、また3年前からは健康に寄与するだろうとハイキングも実施。

- ・大阪府老人クラブサポート事業として、活動についてテーブルミーティングを実施。資金力の不足、会員の減少、役員のなり手がいないというような意見がほとんどのテーブルで出ていた。

〈社会福祉協議会〉 沖田委員

- ・町会自治会を頼りに、横のつながりを中心に情報発信などを行っていたが、それだ

けでは今の社会では不十分であると自覚。SNS や「ばえる」見た目できっちりとアピールできるようなものを意識し、誰でも参加できるようなもの、スポーツや文化をテーマにした縦割りの部分で興味を持って参加できるものなど、活動運営の幅を持たせたもので展開を考えている。

〈スポーツ推進委員協議会〉 西川委員

・コロナが5類に変わり、スポーツ推進協議会での行事も活発にできる予定を組んでいるところ。クロスカントリー、ニュースポーツ大会等のイベントを実施予定。10月に「スポーツフェスティバル」を開催。国からの体力測定会の依頼があり、握力、前屈、障害物歩行などを実施予定。9月号広報掲載予定、周知の協力をお願いしたい。

〈地域活動栄養士会〉 今川代理

・フェイスブックやインスタグラムの活用に力を入れており、幅広い年齢層に発信ができた。SNS から講話などの依頼を受けて、次の1月までの予定は入っており、随時受付をしているという状態。

・当会員の年齢層が充実したこともあり、健康まつりでも各年齢層に応じた知識を活かしその部門のプロで対応して実施したい。

・外に出向くことが難しい中、オンライン上で発信できるお話会のようなこともできたらと考えている。気軽に参加できるよう予約不要であったり、他団体と組ませてもらうなど、周知していければと考える。

〈食生活改善推進協議会〉 早崎委員

・幼児から高齢者といろんな年代を対象に活動しているが、講話内容が今の情報として正しいか気を付けているので、市が活用する資料や情報も提供いただきたい。

・壮年期向けの料理教室を実施したが70歳以上の方が半数以上。4年前と比べ、高齢者や男性の参加、65歳で退職してから料理をしようという方も増えてきていると感じた。時代の流れを考えつつ活動をしていかなければならないと感じている。

〈和泉保健所〉 柴田委員

・健康寿命の延伸に向けて食環境整備として、飲食店や社員食堂でテイクアウトできるお店を対象に、大阪府が定めた独自のヘルシーメニューの基準「VOSメニュー」、野菜、油、塩の基準を満たす主食とおかずを組み合わせた一食分のメニューを提供してくださるお店を増やそうということで取り組んでいる。HPでは、おうちでも簡単に作ることができるVOSレシピも載せているが、なかなか登録数が増えてこないという現状。こういうお店があることを見たり、宣伝してもらいたい。また、市役所新庁舎のレストランでもVOSメニューを提供してもらいたい。

〈障がい者団体連絡協議会〉 事務局より代理報告

・資料4のとおり

〈市民委員〉 石橋委員

・和泉市の地域健康推進員「ヘルスアップサポーター」、ヘルサポの一員。個人ではスキルを深め、定例会でひろげ、地域社会に広めることで将来の子どもたちに健康の贈り物ができたらいいなということで健康づくり活動をしている。今、一番力を入れているところが、地域社会での活動。いきいきサロンなどそれぞれの活動の場を通じて

健康づくりを広めている。

〈市民委員〉 細川委員

- ・熟年者クラブ「絆の会」では、定期開催しグランドゴルフ、いきいき体操、出前講座、災害対策など色々な分野でこころのつながりを図る活動を行っている。
- ・当市民会議における参画団体組織様における諸々の取り組み情報は、単なる情報に終わるのではなく、インテリジェンス情報として、幅広い形で市民へのメッセージとして広報を願う。

(3) 健康日本 21 (第三次) について

国から示されている二次計画の評価と課題、次期計画の方向性について報告。

- ・健康寿命は延伸しつつあるが、生活習慣に関する項目は悪化、メタボ、適正体重の子どもの状況、睡眠による休息、飲酒等の課題が上がっている。
- ・「すべての国民が健やか心豊かに生活できる持続可能な社会の実現を」をビジョンに掲げ、①誰一人取り残さない健康づくりの展開、②より実効性を持つ取組の推進を重点とする。また、最上位の目標（最終的な目標）には引き続き「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を据え、これに「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」「ライフコースアプローチ」を合わせ、「国民の健康の増進に関する基本的な方向」とする。
- ・計画期間は令和 6 年度から 17 年度の 12 年間。
- ・新たな視点として①女性の健康、②健康に関心の薄い層へのアプローチ、③行政だけでなく多様な主体との連携、④より実効性のある取組を展開するためのアクションプランの提示、⑤ICT の活用が挙げられている。
- ・本市においても、府計画や他市の動向を見ながら次期計画に取り組む予定。

(4) その他

- ・第 4 次健康都市いずみ 21 計画の策定スケジュールの確認。
- ・次回は令和 6 年 1～2 月頃開催予定。

4. 閉会

- ・吉田副市長より閉会の挨拶。

会議で出た質問や意見については、全て網羅し、次回の会議冒頭にはくまなく回答するような会議を目指していきたい。次期計画策定にあっては、和泉市ならではのことを盛り込んだ策定方針をととても重要視しており、活発な議論の上、計画を作っていただきたい。現在、市長は「和泉市をプラチナタウンにしたい」という目標がある。今回、代表の皆さま、専門職の皆さま方が様々な活動をしていることがよく認識できた。一方、こうした活動が隔々まで行き渡るには担い手不足が課題。支える側と支えられる側の二元論ではこの問題は解決しえないところに来ている。支えられる側が時に支える側に回る等、支えられることが支えることでもあるように二元論ではなく、一元化、一体化をし、支えあって作っていく社会を築かなければならないと考える。支える側がこれまでは支えられる側をより良く生きることが目標であったが、こ

れからは支える私たちが「光輝いて支えることは素晴らしい」と支える側に回りたいと思えるよう、雰囲気や文化が和泉市にできれば良いと考える。策定方針に話は戻るが和泉市の新計画には、和泉市ならではのロマンを盛り込むことによってより良い計画を作成したいと考える。

健康な和泉を作るためにご尽力を引き続き賜りますことを心からお願いして御礼の挨拶とする。